



し せい 至 誠

生徒指導部だより
種子島中央高等学校生徒指導部 7月号
平成26年 7月18日

1 自分を見つめる

下の詩は、灰谷健次郎の『わたしの出会った子どもたち』に載せられている作品の一つです。「自分を見つめなおしなさい。」とよく言われますが、それはどういうことなのか考えてみましょう。

チューインガム一つ

三年 村井 安子

せんせい おこらんとって
せんせい おこらんとって
わたし ものすごくわるいことした

わたし おみせやさんの
チューインガムとってん
一年生の子とふたりで
チューインガムとってしもてん
すぐ みつかってしもた
きつと かみさんが
おばさんにしらせたんや
わたし ものもいわれへん
からだか おもちゃみたいに
カタカタふるえるねん
わたしが一年生の子に
「とり」いうてん
一年生の子が
「あんたもとり」いうたけど
わたしはみつかったらいややから
いややいうた

一年生の子がとった

でもわたしがわるい
その子の百ばいも千ばいもわるい
わるい
わるい
わるい
わたしがわるい

おかあちゃんに
みつからへんとおもったのに
やっぱり すぐ みつかった
あんなこわいおかあちゃんのかお
見たことない
あんなかなしそうなおかあちゃんのかお
見たことない
しぬくらいたたかれて
「こんな子 うちの子とちがう 出ていき」
おかあちゃんはなきながら
そないいうねん

わたし ひとりで出ていってん
いつでもいくこうえんにいったら
よその国へいったみたいな気がしたよ せんせい
どこかへ 行ってしまお とおもた
でも なんぼあるいても
どこへもいくところあらへん
なんぼ かんがえても
あしばかりふるえて
なんにも かんがえられへん
おそうに うちへかえって
さかなみたいにおかあちゃんにあやまってん
けど おかあちゃんは
わたしのかおを見て ないてばかりいる
わたしは どうして
あんなわるいことしてんやろ

もう二日もたっているのに
おかあちゃんは
まだ さみしそうにないている
せんせい どないしよう



この小学三年生の女の子が書いた詩について、教師であった灰谷健次郎が説明しています。

安子ちゃんのことについてみる。安子ちゃんのはじめからこのような詩を書いたのではなかった。

「わたしはお店へは行ってチューインガムをとりました。もうしません。先生、ゆるしてください。」

そういう簡単な文章を書きつけた紙切れを持って、母親にひきずられてきたのだった。許しを乞うことで、彼女は苦しみから逃れようとしているのである。

「ほんとうのことを書こうな、安子ちゃん」

ぼくがそういうと彼女は泣きだしたのだった。母親に帰ってもらって、ぼくたちはこの詩を書いた。そう、ぼくたちが書いた。ぼくは何もいかなかった。ひたすら安子ちゃんと向き合っていただけであった。彼女は一字書いては泣き、一行書いては泣いた。

幼い少女が自らの中に刃を向けている。

そして、不屈の人間を作りあげた。

「……安子ちゃん、ここでしっかりかんがえてください。先生は、いちばんたいせつにかんがえるべきことは、ドロボーをしたことではなくて、ドロボーをした、そのあとの心だと思います。」

人間はわるいことをしたあと、かならずといっていいほど、あまえた心をいただきます。うんとしかられる、しかし、そのあと、なんだかはれればれた気持ちになる、これは人間があまえた心をもっているしょうこです。子どもでも、わるいことをしてしかられたあとのほうが、ゆかいにあそびまわっています。おとなも、それを見て、よくわかってくれたのだと安心をします。

どちらも、とんでもないまちがいです。先生はたとえどんな小さなことでも、わるいことをすれば、えいきゅうにそのつみはきえないのだと思います。それを一生もって生きていくのが、人間の生きていくすべてだと思います。

安子ちゃん。そのこのところをしっかりかんがえてください。ほんとうにきびしい人間は、いつだってじぶんをごまかしたりしません。安子ちゃんが、この詩をかいたことは、そのうそのない人間になろうとしているあかしたと、先生は思います。だからこそ、先生は、安子ちゃんの詩をよんで、なみだがでたのです。

安子ちゃん。先生はあなたを信頼しています。いま、先生がいえることはこれだけです。」
前述の詩を書き終えた安子ちゃんにしばらくして、ぼくが与えた手紙だ。

今、読み返してみると、安子ちゃんにではなく自分自身にいっているようだ。

(灰谷健次郎 著 『わたしの出会った子どもたち』より)

この文章を読んで、灰谷さんは厳しい人だなあと思った人がいるかも知れません。でも、「人間があまえた心をもっている」という言葉には、心当たりがないですか？私自身、痛いところを突かれたようでドキッとしました。他人は騙せても、自分自身に嘘はつけません。

「自分」というものは確実に存在し、「自分の生き方」も決して消すことはできません。それは厳しい現実ではあるけれども、だからこそ人間が生きるということに価値があるのではないでしょう。覚悟を持って、毎日を生きていきたいものだと、私は思っています。



2 今後の主な日程

- 7月22日(火)夏季補習前期開始(1・2年～7/30, 3年～8/1) 心肺蘇生法講習会
- 7月23日(水)単車実技講習会①(3年)
- 7月24日(木)単車実技講習会②(1・2年)
- 7月25日(金)大学出前授業
- 7月27日(日)親子ふれあい奉仕作業(2年) 9:00～
- 7月31日(木)中学生一日体験入学
- 8月18日(月)夏季補習後期開始(全学年～8/28)
- 8月24日(日)親子ふれあい奉仕作業(1年) 9:00～
- 9月1日(月)始業式・大掃除・課題考査①・頭髪服装指導